

## 平成26年度 人文・自然科学ユニット研究活動状況

### A. 構成メンバー

中村 正信、亀 節子、吉田 仁志、王 財源、  
中吉 隆之

### B. 研究活動の概要

前年度において本ユニットの共同研究が終了し、当年度は新たな共同研究の立案・検討・実施等は行われなかった。本ユニットの構成メンバーの専門分野は互いに大いに異なるので、全員が分担執筆できる共同研究のテーマ設定が今後とも大きな課題である。よって当年度は、各メンバー個人の研究活動が中心となった。

### C. 研究業績

#### 1. 著書・原著

王 財源：『特殊鍼灸テキスト』『八卦頭鍼法』20-27頁を分担執筆，医歯薬出版，東京，2014.

王 財源：中国伝統医学における皮膚美容の文献的検討—『黄帝内経』にみえる鍼灸美容—，日本東洋医学会雑誌，65 (2)，124-137，2014.

王 財源：中国古代「美」意識にみえる鍼灸美容の検討，関西医療大学紀要，8，1-10，2014.

王 財源：「気」の養生思想の研究—鍼灸美容における身体美の原点—，大阪府立大学大学院人間社会学研究科博士後期課程・人間科学分野，博士論文，2014.

王 財源：いろいろセルフケア・集毛鍼，医道の日本，73 (11)，28，2014.

王 財源：国家試験問題から学ぶ臨床の要点，東洋医学臨床論第26回，医道の日本，74 (2)，182-183，2015.

中吉隆之：国家試験問題から学ぶ臨床の要点，東洋医学臨床論第18回，医道の日本，73 (6)，162-163，2014.

中吉隆之：国家試験問題から学ぶ臨床の要点，東洋医学臨床論第23回，医道の日本，73 (11)，144-145，2014.

中吉隆之：古代における馬医鍼灸の文献的研究，大阪府立大学大学院人間社会学研究科博士前期課程・人間科学分野，修士論文，2015.

#### 2. 総説

特になし。

#### 3. 学術講演・学会発表

中村正信 他：細胞照射用重イオンマイクロビーム生成におけるバックグラウンド，第27回タンDEM加速器及びその周辺技術の研究会，京都，2014.7

亀 節子：現代における伝統医学と代替医療，第29回日本医学会総会・医学史展医学史サロン，京都，2015.3

王 財源：中国伝統医療文化における鍼灸と美容の共生，東アジア伝統医療文化多角的研究班発表会，京都，2014.5

王 財源：中国伝統医学の理論法則と実践—臨床現場における鍼灸学の運用—，倉敷芸術科学大学，岡山，2014.12

王 財源：蔵象学理論と配穴法，愛媛中医学研究会・特別講座，愛媛，2015.3

王 財源：老官山遺跡について，愛媛中医学研究会・特別講座，愛媛，2015.3

王 財源：痔に対する伝統医学的な考察と鍼灸は配穴，愛媛中医学研究会・特別講座，愛媛，2015.3

王 財源：薬膳レシピと誰にでもできる中国茶道，熊取町教育委員会，大阪，2015.3

中吉隆之：七星論入門，大阪府鍼灸マッサージ師会・平成26年度府民公開講座生涯研修会，大阪，2014.8